



土地の空気感を最大限享受させる 大きな広がりと小さな場の設えの連なり

小野田 環

設計本部 第4建築設計室 部長

「リビエラ逗子マリーナ」内に計画された11室のホテル&レストラン。マリーナの南端やし並木とハーバーに面し、その先に江の島・富士山、南に相模湾を一望できる場所である。既存施設に近接して囲まれながらも、海に抜けた雄大な眺望を持つ土地のポテンシャルを最大限に生かして、魅力あるリゾートホテルであるとともにマリーナをより活性化する新たな風景をつくることを目指した。

施設を印象付けている大きな水盤は、ホテルとレストランでの滞在に非日常感を演出する。ヤシ並木からこの水盤の前庭、そしてプライベート空間へと、ヒューマンスケールを意識した異なる個性の場を連ね、人々を奥へと誘い込む。さらにホテルのキーワードである「マリブ」の印象とも呼応した、内外の連続性を生む開放感ある建築ファサード、風になびく草花や木々、素朴さと洗練さが掛け合わさったやわらかな設えが織り交ぜられ、外部から内部へと、シームレスに印象的な滞在空間が展開している。

この建築と水盤により生まれた敷地周辺との一体的な広がりにより、この土地の空気感を心地よく感じていただけることを期待したい。



■ マリブホテル

- 建築主 / リビエラ東京
- 所在地 / 神奈川県逗子市
- 構造 / S造
- 階数 / 地上4階
- 延床面積 / 1,473㎡
- ランドスケープデザイン / プラットデザイン
- 照明デザイン / ヌーサデザイン
- 施工 / 大洋建設
- 竣工 / 2020年2月
- 受賞 / まちなみデザイン逗子賞

撮影 / Koji Fujii (TOREAL)